

セ・パツ決定!! 岩国、創成館、鎮西、神村学園、沖縄尚学、美里工

大島



奄美から初

第86回選抜高校野球大会（3月21日から12日間、甲子園）の出場校を決める選考委員会が24日、大阪市の毎日新聞大阪本社の一オールドホールで開かれた。21世紀枠で選出された大島（鹿児島）は、昨年12月31日開幕の日本復帰60周年を迎えた奄美群島で初の甲子園出場。離島というハンディキャップを乗り越えた快挙に、島全体が祝福ムードに包まれ、ナインは甲子園1勝を誓った。組み合わせ抽選会は3月14日に行われる。

春秋県4強文武両道&奉仕活動も評価

◆東立大島
1901年(明治34)に大島農学校として開校。旧制大島中、新制大島高を経て、56年に現校名になった。学科は普通科のみで、生徒数は748人(うち女子は421人)。野球部の創部は73年で、現在の部員は32人。所在地は、鹿児島県奄美市名瀬安勝町7の1。

ハンデ乗り越えてつかめ聖地1勝

島中祝賀ムード
奄美市の朝山穀市長をはじめ地元で活躍するOBも大々、「マイコン」と呼ばれて親しまれた。地元紙の南海日日

大島市作野選抜大会成績

回戦	スコア	対戦校
1回戦	7-1	松川
2回戦	0-0	内海
3回戦	0-0	徳島
4回戦	0-0	徳島
5回戦	0-0	徳島

「夢のような出来事にワクワクしている。島の昔の高校生でも夢に手が届くことが分かったと、夢心地の表情だ。いくつものハンデを乗り越えた。今年創立113周年を迎える島で一葉の守」と島原主将。短い練習時間の有効活用に工夫を凝らす。島内に高校は4校だけ練習試合を3チームに分けた5回戦の紅白試合を巴戦で行い、表彰を贈った。

「目立った選手はいないが、30人の部員を3チームに分けた5回戦の紅白試合を巴戦で行い、表彰を贈った。島にはマンクローブの原生林があり自然に恵まれた環境。グラウンド近くのやぶには猛毒を持つハブも生息している。大自然の中で走り、泳ぎ、育った子供たちは身体能力に優れ、中学までは県内で高いレベルのチームが多い。左腕エース・福水は金久中で3季連続県準優勝。九州大会4強入りも果たしている。だが甲子園出場を狙う選手は多くは本土の有名校に誘

「夢のような出来事にワクワクしている。島の昔の高校生でも夢に手が届くことが分かったと、夢心地の表情だ。いくつものハンデを乗り越えた。今年創立113周年を迎える島で一葉の守」と島原主将。短い練習時間の有効活用に工夫を凝らす。島内に高校は4校だけ練習試合を3チームに分けた5回戦の紅白試合を巴戦で行い、表彰を贈った。

選抜大会出場校

地区	学校名	出場年
北海道	大谷小	8年ぶり
東北	八戸学院	2年ぶり
関東	白鷺大	77年ぶり
中部	三遊	2年ぶり
近畿	三遊	2年ぶり
中国	山口	14年ぶり
四国	徳島	24年ぶり
九州	大分	27年ぶり

薄毛治療 99.4%
はクリニックで
17日 6,500円
AGA + スキンクリニック福岡院
0120-31-9696

購読申し込みは本社販売部